

# 久々野デイサービス通信

(一財) 高山市福祉サービス公社  
久々野デイサービスセンター  
住所：久々野町無数河859番地1  
電話：52-3711



利用者様が飾りつけた松飾り

いつもご利用ありがとうございます。

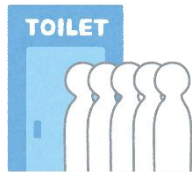
今年初めのデイサービス通信は、皆さまにご協力いただきましたアンケートの集計結果から、ご要望に対するお返事をお届けいたします。全てのご希望に沿えない面や、有効な手立てが見出せないこともあり恐縮ですが、いただいた貴重なご意見を無駄にすることが無いよう、様々な角度から努力と工夫を重ねてまいります。どうぞこれからも、忌憚のないご意見をお聞かせください。(管理者)

## 建物の構造に関すること

### ○トイレの個室数を増やしてほしい

利用者様が使うことのできる個室数は、男女合わせて3つです。実際のところ昼食後やご帰宅前は利用される方が多いため、混雑しやすい現状です。

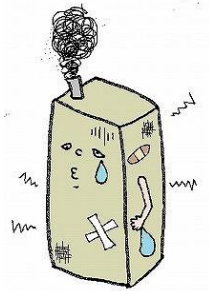
皆さまに一齐に声掛けを行わず空くタイミングを見ながらの声掛けと  
するように気を付けてまいります。



- ボイラーをもっと早く直して欲しかった
- 浴室の近くにトイレを作してほしい
- 洗面台の数を増やしてほしい

ボイラーの故障により、長きにわたり多くの利用者様にご迷惑をお掛けしましたこと、心よりお詫び申し上げます。すぐに関係各所と協議を行い、最善策を講じた結果であることをご理解いただければ幸いです。

トイレや洗面台の増設に関しましても容易に行える工事ではないですが、利用いただく方のご希望に沿えるよう前向きに検討を進めてまいります。



### ○利用する人が増えたので手狭に感じる

ご指摘のあったトイレの他に、脱衣室も心当たるところです。その他具体的にどのような場面でそのように感じられるのか、利用者様への聞き取りや観察を重ねて個別に対応を検討いたします。

## 備品に関すること

### ☆トイレにはウォシュレットを完備してほしい

最近は多くのご家庭でも設置されており、利用者様のトイレ動作訓練に必要な場合や、衛生的な観点からも設置の重要性は高いことから、来年度の設置に向けて検討をしております。



### ☆ベッドの数を増やしてほしい

現在満床になるのは、利用者様がお昼寝を希望される時間帯ですので、折り畳み式ベッドを増設することで、できる限りゆったりすごしていただける環境を提供したいと考えております。



ウラ面もご覧ください

## サービスに関すること

### ○迎えの時間が早かったり遅かったりする

できる限り同じ時間に迎えに伺えるよう心掛けておりますが、他の利用者様のご都合や道路状況などで、10分程度は誤差が生じることをご理解ください。

なお、事前に15分以上のズレが生じると判っている場合は、お電話を差し上げることとしています。



### ○帰宅時に「肌シャツが後ろ前」「パンツがしっかり上がっていない」ことがある

大変失礼いたしました。以後このようなことが無いよう、見守り声掛けの確認を徹底いたします。これからも、ご家族の皆様がお気付きになられたことがありましたら、ご遠慮なくスタッフにお申し付けください。



### ○提供しているサービスの効果について検証してほしい。家族は判断に困る。

私たちは上記について6ヶ月ごとに検証（評価）し、次の計画書に反映させています。そして計画書を交付する際には、新たなサービス内容等の説明を行い同意をいただくことになっています。その説明の中には検証結果（評価）が含まれているのですが、伝わりづらいとのご指摘ですので工夫したいと思っております。

デイでの取り組みがご自宅で活かされてこそ、ご本人ご家族にとって意味のあることとなります。その点では計画書の更新内容と評価について、確実な説明をお届けする必要があると気付かせていただきました。



### ○ご飯は美味しいが、焼いたり揚げたりの匂いが漂ってこないのが不思議

厨房内はしっかり換気されているため、匂いは漏れにくいと考えられます。

「ご飯が美味しい」と言っていただけることが何より私どもの励みとなりますので、今後も喜んでいただけるよう努めてまいります。



### ○「デイで入るから・・・」と、家で入浴したいと言わなくなった

ご意見は「家族として助かっている」というものでしたが、裏返してみると、ご自宅のお風呂に入れる能力がある方の意欲や機能の低下を招いていないかという点が心配されます。デイでの入浴も訓練の一つです。準備を含めた一連の入浴行為に対する課題がクリアできれば、ご自宅での入浴を再開していただくことを積極的に提案させていただいています。



## ご意見箱 はじめました！



昨年11月からデイルームの一角に常設しています。私たちへの要望はもちろん、喜怒哀楽いろんな思いを書いていただきたいと願っています。「気持ちを表に出す」「思いを伝える」を支えることが大切な支援のひとつと考えての取り組みです。